



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 三菱倉庫株式会社

コード番号 9301 URL <https://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤倉 正夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 稲毛 尚之

TEL 03-3278-6611

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	101,388	△11.8	4,495	△32.0	6,888	△25.2	30,416	337.9
2020年3月期第2四半期	114,978	4.5	6,609	0.8	9,210	3.3	6,945	24.1

(注) 包括利益 : 2021年3月期第2四半期 34,921百万円( -%) 2020年3月期第2四半期 1,820百万円(△84.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	354.67	—
2020年3月期第2四半期	80.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	506,023	316,033	61.9
2020年3月期	468,243	286,356	60.5

(参考) 自己資本 : 2021年3月期第2四半期 312,999百万円 2020年3月期 283,340百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	△7.0	10,000	△18.0	14,200	△15.6	37,600	217.3	442.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	87,960,739株	2020年3月期	87,960,739株
2021年3月期2Q	2,911,371株	2020年3月期	2,052,493株
2021年3月期2Q	85,761,123株	2020年3月期2Q	86,716,002株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあります。経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きがみられました。またわが国経済は、同感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。個人消費や輸出・生産で持ち直しの動きがみられました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、競争の激化や人手不足等を背景としたコストの増加に加え、同感染症の影響を受け輸出入貨物が減少したことにより、また不動産業界においては、緊急事態宣言が解除されたものの、消費者の行動変化等により商業施設の一部で集客が落ち込むなど、いずれも厳しい状況のうちに推移しました。

このような状況の下、当社グループは、同感染症予防に努めながら営業活動を推進し、物流事業では、医薬品等の配送センター業務の拡大、国際輸送貨物の取扱維持等に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、営業収益は、物流事業で、倉庫、陸上運送、港湾運送及び国際運送取扱の各事業において同感染症の影響による貨物取扱量の減少等に伴い収入が減少し、不動産事業で、不動産賃貸事業における同感染症の影響による一部商業施設のテナント休業及び東海旅客鉄道(株)が推進するリニア中央新幹線計画への協力に伴う名古屋駅近辺の当社賃貸施設からのテナント退去、マンション販売事業における販売物件の減少等により収入が減少したため、全体として前年同期比135億8千9百万円(11.8%)減の1,013億8千8百万円となりました。他方営業原価は、物流事業で、貨物取扱量の減少に伴い作業運送委託費が減少したほか、不動産事業で、マンション販売物件の減少に伴い不動産販売原価等が減少したため、全体として前年同期比112億9千万円(10.9%)減の918億2千4百万円となり、販売費及び一般管理費は、連結子会社における経費の減少等により、同1億8千4百万円(3.5%)減の50億6千9百万円となりました。

このため、営業利益は、物流及び不動産の両事業で減益となったので、全体として前年同期比21億1千4百万円(32.0%)減の44億9千5百万円となり、経常利益は、同23億2千2百万円(25.2%)減の68億8千8百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益で、名古屋駅近辺の当社不動産事業用地の一部譲渡等による固定資産処分益及び受取補償金(合計約366億円)等を計上したため、前年同期比234億7千万円(337.9%)増の304億1千6百万円と大幅な増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 倉庫・港湾運送等の物流事業

倉庫、陸上運送、港湾運送及び国際運送取扱の各事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により貨物取扱量が減少しており、倉庫、陸上運送の両事業は、医薬品等の取扱が増加したものの自動車部品、飲料等の取扱減少により、営業収益は倉庫事業で前年同期比3.1%減の271億5千7百万円、陸上運送事業で同12.0%減の230億5百万円となりました。また港湾運送事業は、コンテナ貨物の取扱減少等により、営業収益は前年同期比17.9%減の100億4千8百万円となり、国際運送取扱事業は、輸出入貨物の取扱減少等により、営業収益は同11.6%減の225億3千7百万円となりました。

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比92億5千7百万円(9.7%)減の863億4千7百万円となりました。また営業費用は、貨物取扱量の減少に伴い作業運送委託費が減少したため、前年同期比76億8千万円(8.4%)減の839億1千1百万円となりました。このためセグメント利益(営業利益)は、前年同期比15億7千6百万円(39.3%)減の24億3千6百万円となりました。

## ② 不動産事業

主力の不動産賃貸事業は、同感染症の影響による一部商業施設のテナント休業及びリニア中央新幹線計画への協力を伴う名古屋駅近辺の当社賃貸施設からのテナント退去等に伴い、営業収益は前年同期比3.5%減の139億6千5百万円となりました。その他の営業収益は、マンション販売事業における販売物件の減少等により、前年同期比67.2%減の19億1千2百万円となりました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期比44億3千5百万円(21.8%)減の158億7千8百万円となりました。また営業費用は、マンション販売物件の減少に伴い不動産販売原価等が減少したため、前年同期比38億5千6百万円(25.9%)減の110億3千7百万円となりました。このためセグメント利益(営業利益)は、前年同期比5億7千8百万円(10.7%)減の48億4千万円となりました。

セグメントごとの主要業務の営業収益

セグメント	営業収益(百万円)		前年同期比増減	
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	金額(百万円)	(%)
倉庫・港湾運送等の物流事業				
(倉庫事業)	28,029	27,157	△872	△3.1
(陸上運送事業)	26,136	23,005	△3,130	△12.0
(港湾運送事業)	12,237	10,048	△2,188	△17.9
(国際運送取扱事業)	25,483	22,537	△2,946	△11.6
(その他)	3,717	3,597	△119	△3.2
計	95,604	86,347	△9,257	△9.7
不動産事業				
(不動産賃貸事業)	14,476	13,965	△510	△3.5
(その他)	5,837	1,912	△3,925	△67.2
計	20,314	15,878	△4,435	△21.8
セグメント間取引消去	△939	△836	103	—
合計	114,978	101,388	△13,589	△11.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まない。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、名古屋駅近辺の当社不動産事業用地の一部譲渡等による多額の特別利益の計上に伴い「現金及び預金」や未収金(“流動資産”及び“投資その他の資産”の「その他」に計上)が増加すると共に、その資金活用による設備投資に伴い「建物及び構築物」や「土地」等の有形固定資産が増加したほか、株式相場の回復に伴い「投資有価証券」が増加したため、前期末比377億7千9百万円増の5,060億2千3百万円となりました。

他方当第2四半期連結会計期間の負債合計は、主として、名古屋駅近辺の当社不動産事業用地の一部譲渡等による多額の特別利益への税務上の圧縮記帳適用及び株式相場の回復に伴い「繰延税金負債」が増加したため、前期末比81億2百万円増の1,899億8千9百万円となりました。

また当第2四半期連結会計期間の純資産は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上に伴い「利益剰余金」が増加したほか、株式相場の回復に伴い「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前期末比296億7千6百万円増の3,160億3千3百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は、前期末を1.4ポイント上回る61.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により、251億4千万円の増加（前年同期は86億2百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入があったものの、固定資産の取得による支出等により、166億7千1百万円の減少（前年同期は74億7千3百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出、配当金の支払等により、58億3千9百万円の減少（前年同期は11億7千5百万円の増加）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（1億6千9百万円の減少）を加えた全体で24億6千万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は430億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の連結業績は、物流事業が弱含みであるものの、全体として2020年7月31日公表の第1四半期経過時修正予想に沿って進捗しているため、通期の連結業績予想については、2020年7月31日公表の予想数値を据え置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,854	41,392
受取手形及び営業未収金	36,392	33,512
有価証券	2,000	2,000
販売用不動産	14,882	15,629
その他	6,404	16,141
貸倒引当金	△39	△35
流動資産合計	98,494	108,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	127,987	129,619
機械装置及び運搬具（純額）	4,368	4,223
土地	89,630	103,040
建設仮勘定	2,421	4,425
その他（純額）	8,653	8,140
有形固定資産合計	233,061	249,449
無形固定資産		
借地権	7,732	7,730
のれん	329	178
その他	6,443	5,855
無形固定資産合計	14,505	13,764
投資その他の資産		
投資有価証券	111,587	118,647
長期貸付金	360	368
繰延税金資産	2,966	3,043
その他	7,330	12,181
貸倒引当金	△13	△16
投資損失引当金	△48	△57
投資その他の資産合計	122,182	134,168
固定資産合計	369,749	397,381
資産合計	468,243	506,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,249	20,973
短期借入金	25,403	25,574
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	2,868	3,878
取締役賞与引当金	50	22
その他	12,685	9,268
流動負債合計	68,257	64,717
固定負債		
社債	46,000	46,000
長期借入金	19,680	19,657
長期預り金	20,987	21,794
繰延税金負債	14,925	26,240
役員退職慰労引当金	130	107
退職給付に係る負債	10,268	10,201
その他	1,638	1,269
固定負債合計	113,629	125,272
負債合計	181,886	189,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,587	19,595
利益剰余金	204,319	232,157
自己株式	△5,847	△8,476
株主資本合計	240,453	265,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,252	48,136
為替換算調整勘定	389	△110
退職給付に係る調整累計額	△754	△697
その他の包括利益累計額合計	42,887	47,328
非支配株主持分	3,015	3,033
純資産合計	286,356	316,033
負債純資産合計	468,243	506,023



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業収益</b>		
倉庫保管料	13,629	14,038
倉庫荷役料	9,094	8,180
陸上運送料	26,136	23,005
港湾荷役料	9,443	7,653
国際運送取扱料	25,434	22,480
不動産賃貸料	15,773	15,477
その他	15,466	10,553
営業収益合計	114,978	101,388
<b>営業原価</b>		
作業運送委託費	48,554	42,619
人件費	19,272	18,851
施設賃借費	4,614	4,926
減価償却費	6,684	6,929
その他	23,988	18,498
営業原価合計	103,115	91,824
営業総利益	11,863	9,564
販売費及び一般管理費	5,253	5,069
営業利益	6,609	4,495
<b>営業外収益</b>		
受取利息	28	28
受取配当金	1,937	1,706
持分法による投資利益	701	879
その他	266	317
営業外収益合計	2,934	2,932
<b>営業外費用</b>		
支払利息	285	299
為替差損	9	214
その他	38	25
営業外費用合計	333	538
経常利益	9,210	6,888
<b>特別利益</b>		
固定資産処分益	58	19,110
投資有価証券売却益	1,665	—
施設解約補償金	—	47
受取補償金	—	18,692
特別利益合計	1,723	37,850
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	1,031	170
投資有価証券評価損	37	562
投資損失引当金繰入額	25	10
臨時休業による損失	—	381
特別損失合計	1,093	1,124
税金等調整前四半期純利益	9,840	43,613
法人税等	2,806	13,146
四半期純利益	7,033	30,466
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,945	30,416

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	7,033	30,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,700	4,930
為替換算調整勘定	△352	△504
退職給付に係る調整額	△79	58
持分法適用会社に対する持分相当額	△79	△29
その他の包括利益合計	△5,212	4,454
四半期包括利益	1,820	34,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,740	34,857
非支配株主に係る四半期包括利益	80	63

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,840	43,613
減価償却費	6,899	7,158
引当金の増減額 (△は減少)	26	6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△421	△61
受取利息及び受取配当金	△1,966	△1,734
支払利息	285	299
固定資産処分損益 (△は益)	0	△19,007
受取補償金	—	△18,692
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,665	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	37	562
売上債権の増減額 (△は増加)	3,178	2,767
販売用不動産の増減額 (△は増加)	1,865	△747
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,627	△1,210
預り金の増減額 (△は減少)	△1,985	667
その他	△1,271	622
小計	9,195	14,244
利息及び配当金の受取額	2,592	2,614
利息の支払額	△270	△288
補償金の受取額	—	11,686
法人税等の支払額	△2,915	△3,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,602	25,140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△10,302	△30,080
固定資産の売却による収入	96	14,006
投資有価証券の取得による支出	△275	△509
投資有価証券の売却による収入	2,991	—
その他	15	△87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,473	△16,671
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の純増減額 (△は減少)	9,505	159
自己株式の取得による支出	△5,014	△2,691
配当金の支払額	△2,626	△2,576
その他	△689	△731
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,175	△5,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	△169
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,175	2,460
現金及び現金同等物の期首残高	42,972	40,541
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,147	43,002

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月31日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において普通株式878,400株、2,684百万円の自己株式を取得しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	95,198	19,780	114,978	—	114,978
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	406	533	939	△939	—
計	95,604	20,314	115,918	△939	114,978
セグメント利益	4,013	5,419	9,432	△2,822	6,609

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,822百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,840百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	倉庫・港湾運送 等の物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	86,009	15,379	101,388	—	101,388
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	337	499	836	△836	—
計	86,347	15,878	102,225	△836	101,388
セグメント利益	2,436	4,840	7,276	△2,781	4,495

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,781百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,789百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、第3四半期以降も、物流事業を中心に同感染症の影響が残るという仮定に基づき、会計上の見積りを行っております。